

宜野湾市民会館で1月18日に開催された「第40回県母子保健大会」で、母子保健事業の推進に功績を残したとして市から3人の方が表彰されました。助産師の山城久子さんは、28年間にわたり助産業務に従事し、母親教室の充実など妊産婦の相談役として尽力。また、本市の母子保健推進員として尽力されている金城澄子さん(25年間従事)と、石川順子さん(15年間従事)は、きめ細かい訪問活動により地域での相談役として活躍しており、今回の受賞となりました。



▲ 報告に訪れた受賞者の3人。(右から山城・石川・金城さん)表彰おめでとうございます

母子保健で3人の
方が表彰されました

1/18



▲ 知念恒男市長へ答申書を手渡す崎山会長

健康うるま21答申! 2/2

現在うるま市が進めている市健康増進計画「健康うるま21」について、うるま市健康づくり推進協議会の崎山八郎会長から知念恒男市長へ答申が行われました。

崎山会長は「同計画で設定された将来像及び目標値等の実現に向け真摯に取り組み、市民一人ひとりの健康づくりを支援するまちづくりが推進されるよう要望します」と答申しました。

今後は、この答申書の主旨に沿って、うるま市の健康増進計画が進められることとなりました。

うるま市歌

作詞 知念仁照
補作 うるま市歌検討委員会

三番 ああうるま市に 心と心 平和の鐘は 共に響き 共に興さん	二番 ああうるま市に 共に手とり 生まれし街の 生れし息吹 みほその里も	一番 ああうるま市に 青雲澄みて 肝高みちる あやかし照す 世紀の波は
美ら島に わが街も 理想もち 高鳴りぬ 通い合う 実が栄える	花が咲く 進みゆく 自治の道 誇りなん 共に芽え	金武湾に うち寄せて この里も 光さす みどり萌え

▲ 市役所内で行われた市歌決定発表会(左から鳥袋秀光委員長、知念仁照さん、知念恒男市長)



うるま市の歌「歌詞」
発表される

1/17

一般公募していた「うるま市の歌(歌詞)」が158件の有効応募総数の中から知念仁照さん(字安慶名)の作品が選ばれ、市歌(歌詞・左の作品)として決定しました。

知念恒男市長、鳥袋秀光委員長出席のもと発表会が市役所内で行われ、作品が選ばれた知念さんは「選ばれて天にも昇る気持ちです」と作品が選ばれた喜びを話しました。

44年ぶりに故郷へ里帰り 1/24

・饒辺地域の全景写真寄贈・

与那城饒辺公民館(宮城政和自治会長)へ平良一男さん(勝連平安名)より饒辺地域の全景写真の寄贈が行われました。写真は、現在アルゼンチンに住む平良さんの姉が44年前にもらい受け、大事に今まで保存しておいたもの。平良さんが、姉へ連絡を取り写真のコピーを送ってもらい今回写真寄贈が実現。写真を受け取った宮城自治会長は「先輩方の後輩に対する、郷里を大切にしてほしいという思いが写真から伝わってきます。今後も地域を大切に頑張っていきたい」と話していました。



▲ 44年ぶりの里帰りをした饒辺地域の全景写真

叙位叙勲

- 従六位瑞宝双光章
元石川中学校長 上間一秀氏(石川伊波)
平成十八年(七月二十五日逝去)
- 正六位旭日双光章
元具志川市議 我謝秀信氏(字兼箇段)
(二月一日逝去)
- 正六位
元与那城町議 新屋盛次氏(与那城上原)
(二月十七日逝去)